

| グループでの話し合い ① | | | |
|--------------|--|-----|----|
| テーマ | 命を守り、大切にすまち | 班 | 1 |
| 進行役 | 杉本 | 記録係 | 亀村 |
| 項目 | 意見 | | |
| 拠点づくり① | <p>集会所で、人が集まるきっかけをつくり、コミュニケーションを測りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1街区ではカレー喫茶を定期的に行っている。食事会兼カラオケもしている。花も植えている（5街区の花もきれい）。 ・ 足が痛くて出不精になりつつあるが、痛さ、しんどさを超えて楽しめる場所があればいい。 ・ 集まる場所があれば近所で誘いあって出かけたたい。 ・ トイレやキッチンの改修が必要。 | | |
| 拠点づくり② | <p>友達やお客さんを呼べる場所があると良い。 (候補例) 集会所2階、団地の空き部屋、図書館2階</p> | | |
| 拠点づくり③ | <p>野菜販売所や道の駅があると集まるきっかけになる。 地域内雇用につながると良い。 野菜市のある場で、展示も行える。</p> | | |
| 拠点づくり④ | <p>中央公園の手入れをしたい。 昔は家族で遠足などして出かけたが、今は木が生い茂り、猫の棲家になっている。ホタルを育てているようだが、明るくきれいに、子どもたちと過ごせ、ピクニックができる公園にしたい。</p> | | |
| 視聴覚障害 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションを取ることで、周囲に「身体的な困難」があることを分かってもらえたらいいと思う。 ・ 対面朗読をむかいじま図書館でもやってほしい | | |
| 空き家 | <p>現在ニュータウンに600戸ほどある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今風リノベーションをして、若い人たちの入居につなげてはどうか。 ・ 低層階に住む人たちが災害時に移れるように、高層階に避難場所を。 ・ 福祉サービスに活用しては（2部屋続きにするなど広さを確保）。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ① | | | |
|--------------|---|-----|----|
| テーマ | 命を守り、大切にすまち | 班 | 2 |
| 進行役 | 竹口 | 記録係 | 伊藤 |
| 項目 | 意見 | | |
| すまい | 集会所の利用に仕方・リニューアルについて、住民主体で考え検討されている。 | | |
| | 花壇の世話を通して、人とつながりを持ちたいと思い実践されている方がいる。 | | |
| 高齢者 | 高齢者の居場所づくり、見守り活動が、各学区の社協を中心に定着してきた。 | | |
| | 頑張ってやりたいと思う人、横並びでと思う人、そっとしてほしいと思う人もおり、様々な人との良好な関係を保つバランスが必要。 | | |
| 子育て | 食の提供を通じて見守り活動が継続されているが、子供の貧困対策をしっかり取り組むことが必要。 | | |
| 防災 | 住む街区、低層か高層か、公営・公団か分譲マンションかなど棟ごとに対応が異なる。今、一時避難をどうするか具体化の検討を議論している。 | | |
| 安全 | 公園の緑について、緑の量があることでより自然を感じることで裏腹に人の目が届かず不安を感じるので適切な管理が必要。 | | |
| | 防犯カメラを設置すると防犯に効果があるが、その経費をどうするかといった課題がある。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ① | | | |
|--------------------------------|---|-----|----|
| テーマ | 命を守り、大切にすまち | 班 | 3 |
| 進行役 | 吉村 | 記録係 | 馬場 |
| 項目 | 意見 | | |
| 防災避難訓練（モチベーション） | 出ても仕方がないという人もいるが、あきらめないで続けることが大切。社協など公的機関と自主防災会が協力してはじめて対処できる。 | | |
| 防災避難訓練（高齢者・障がい者の参加） | 健常者を基準として行われがちなので、高齢者・障がい者も参加し、問題を洗い出す必要あり。集合場所に行けない、障害者、高齢者への配慮の問題や階段では、タンカは使いにくいので毛布を利用する必要など。しかし、たとえ参加してもなかなか次に反映されない傾向がある。避難訓練は地域に十分還元できるようなものにする必要がある。 | | |
| 防災避難訓練（障がい者避難の注意点） | 障害者は健常者よりも一歩出遅れる点や、必要な医療、電気、災害時の備品の確保が必要。聾啞者の場合など「無事です」というカードで示すような形で表現して訓練に参加する。 | | |
| 防災避難訓練（災害時に備えるための日常のコミュニケーション） | 災害時にどこにどんな人がいるのかわからなという状況にならないよう、リアリティのある訓練が必要。隣近所でどうしたらよいかという話し合いもしにくい状況あり（コミュニケーション不足）。災害時、ベランダを超えていくような必要もあるが、そういうことがしにくい。 | | |
| 防災（管理） | そもそも避難場所が不明 | | |
| 防災（情報伝達） | 避難の場合、高齢者・障害者・外国人への伝達手段は、回覧板より放送が有効。紙媒体は見ているかどうかわからない。 | | |
| 多文化共生のための伝達手段 | 各街区での放送設備の整備に加えて情報の共有のための FM 局開設。家庭での利用も可能になる。中国語放送を行う計画もあり。日本語がわからない人や聴覚障害の人に対しては視覚情報が重要。 | | |
| 外国人コミュニティのコミュニケーション | 様々な外国人コミュニティにおけるつながりの場を、料理教室を開くなどしてつくる。また、外国人同士での情報交換（シングルマザーの子育て、病気などの相談など）ラインなどを利用して行い、情報を集約する。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ① | | | |
|----------------------|--|-----|-----|
| テーマ | 命を守り、大切にすまち | 班 | 4 |
| 進行役 | 大河内 | 記録係 | 大河内 |
| 項目 | 意見 | | |
| 1 子どもから高齢者まで、資源を生かそう | <ul style="list-style-type: none"> ・命を守るとは、こどもから高齢者まで考えるべき。 ・子や孫もここに住み続けることができるように。向島ニュータウンを終のすみかにしたい。 ・磨けば輝く資源がある、命を守る取組に活かそう。自然環境を健康づくりに活かそう。 | | |
| 2 命を守るためには人のつながりが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな経験のある人多い。生きがいが必要であり、人の役に立てることで生きがいを感じるができる。 ・顔見知りになろう、そのためにコミュニケーションの場がある。声かけをすることが、助け合いにつながる。夜遊んでいる子どもに、声かけをしよう。 ・(自治会など) 話し合える場が必要。 ・集える(活動できる)「場」が足りない。街区集会所は誰もが自由に使えない、利用が限定される。3街区は全体の集会所がない。 | | |
| 3 健康増進や予防が大切 | <ul style="list-style-type: none"> ・予防、健康増進が大切、介護予防の場づくり。 ・これから認知症の人が増えるが、家族、地域でどう向き合うか。介護者家族の集える場がある。 ・障害者の健康維持のために、障害者のスポーツセンターを。障害者スポーツの拠点は京都の北にしかない。 | | |
| 4 施設整備が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅前に便利な施設(郵便局など)があればよい。 ・中国語(外国語)のサインが必要。 ・駅前に信号が必要(現状の信号は変則的)。 ・暗いところが多い、安全確保のために外灯がある。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ① | | | |
|------------------|---|-----|----|
| テーマ | テーマ 若い世代が住みたいまち | 班 | 5 |
| 進行役 | 三林 | 記録係 | 高橋 |
| 項目 | 意見 | | |
| 向島 NT への子育て世代の入居 | 若者向けにリノベーションした住戸は数戸しかない。子育て世帯を呼び込むにはもっと受け皿が必要。 | | |
| | リノベーション住宅に若い世代が入っても子どもが18歳になると退出しなければならない。他の市営住宅に入ることはできるが、特に斡旋するわけではない。 | | |
| | 若い世代が一定期間後に退出しなければならないのは仕組みの問題。若い世代に定着してもらうにはルールの見直しなど政策面の変更が必要。 | | |
| | 一街区のリノベーション住戸はフローリングにアイランドキッチンと若者向けに工夫がされていて良いが、市営住宅には所得制限が有り、入りたくても入れない人も出てくる。 | | |
| 若者の定着 | かつて小中学校はマンモス校だったが、結婚後はみんな出て行く。なぜ出て行くのかを考える必要がある。 | | |
| | 成人した子どもが入りたがらないのは、入居条件以外の要因があるはず。 | | |
| 二世帯の住戸 | 中年世代は親の面倒を見るために近くに戻ってくるケースもある。 | | |
| | 現状では二世帯が住むのは難しい。千里ニュータウンでは二世帯用の住戸がある。二世帯受けのリノベーションは無理だが、建て替えならできるのではないかな？ | | |
| 小中一貫校 | 小中一貫校の影響は大きい。平安女学院の中学高校が耐震工事のため一時移転したが、地域に子どもたちがいるだけで町が活性化する。 | | |
| | 御所南は成功例として全国的に認知されるほどになった。 | | |
| | 子育て世代が入ってきて人が増えると20年後はどうなるのか？学校が不足するのではないかな？ | | |
| | 学区の変更がたびたびあって混乱する。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ① | | | |
|--------------------------|---|-----|----|
| テーマ | 若い世代が住みたいまち | 班 | 6 |
| 進行役 | 戸田 | 記録係 | 戸田 |
| 項目 | 意見 | | |
| 共働き・若い子育て世帯のしんどさが気になる | <ul style="list-style-type: none"> 母や子どもの孤立が気になる（そもそも子育て世帯が少なく、共働きも多いことで横のつながりも薄い、苦勞しているのが分かる） 若い世代が引っ越ししてきたのを見ると、「何かできないかなあ」と感じているご近所さんや人生の先輩も多いはず。 「子育てが分からない」「家族の中で子育てを教えることができなくなっている（核家族）」→近所で支える必要がある。 大人も子どもも関わり合いの中で成長する。 | | |
| 子育て世帯を地域でサポートする仕組みをつくりたい | <ul style="list-style-type: none"> 働く母親を支えるシステムが必要。 若いお父さんお母さんをサポートする・アドバイスする機会をつくりたい。 縦世代でのコミュニケーションがあれば。 リスクや責任があり、個人レベルではできない。専門家による支援や管理が必要。 子育て支援のシステムづくりのために、まずは話し合う場（きっかけの場）をつくりたい。 | | |
| 近くで買い物できる場所がこれからさらに必要に。 | <ul style="list-style-type: none"> 街区、学区ごとに 飲食、スーパーが必要。 近くのところに小さいスーパーも必要になってくる | | |
| 若い人に魅力あるまちに | <ul style="list-style-type: none"> 経済的支援も子育て世帯には魅力につながる。 小中一貫校開校を呼び水に。 例：北九州市では新日鉄の縮小の後子育て世代が減少、呼び込むために、子育て、子どものための施設に力を入れている。 若い人が元気で多いと、高齢者も元気になる。 | | |
| 地域防災に必要なこと | <ul style="list-style-type: none"> 学校跡地を避難場所に。 警報や情報が全街区に伝わるしくみが必要。 | | |
| 5街区D棟でのコミュニティ活動について | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティが大切と考え、集会所で、人との出会い、おしゃべりの場をつくっている。 集会室＝近所だけでなく、棟を超え、街区での関わりづくりも必要。 | | |
| まちをキレイに | <ul style="list-style-type: none"> 公園の管理の問題。今の中央公園は怖い 使う公園、散歩できる公園に。 | | |
| 魅力的な施設も必要 | <ul style="list-style-type: none"> 駅の西側に商業施設を。 学校跡地の活用ができないか。 農地が近いことから青空市場があったらいい。 | | |
| まちづくりの方向性 | <ul style="list-style-type: none"> どの世代も暮らしやすいようにコミュニケーションが豊かなまちにしたい。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ① | | | |
|-------------------------|--|-----|----|
| テーマ | 若い世代が住みたいまち | 班 | 7 |
| 進行役 | 嶋崎 | 記録係 | 嶋崎 |
| 項目 | 意見 | | |
| 子育てしやすい環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が住むときに保育園に入れるということが大切。 ・乳児の時から地域で見守っていける環境づくり。 | | |
| 若い世代が入ってくる施設・働ける場 | <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が外から入ってくる施設が必要（＝働く場） ・大学、働く場などの誘致ができないか。 ・地域で仕事つくることが必要。 ・市営住宅のリノベーションについて知りたい。 | | |
| 防犯 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園は防犯的な効果を考えて、夜も明かりをつけてる。 | | |
| 子どもに誇りをもってもらうための「向島の歴史」 | <ul style="list-style-type: none"> ・向島の歴史を研究し環境づくりにつなげたい。 ・向島城には天下人がいた歴史がある。 ・子ども達が地域の歴史を通じて、誇りをもってほしい | | |
| 跡地の利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・跡地の話し合いをしたい。市のビジョンはあるのか？ ・子どもや地域住民が使える施設を整備してほしい（青少年活動センターなど）。 ・子どもが放課後も集える場所ができないか。 ・子どもだけでなく大人も使える施設。 | | |
| 児童館の上の子ども（中高生）の過ごす場 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童館に行く子どもの上の年代が安心して過ごせる場が必要。 ・中高生などが活やくできる場があれば、働く親にとっても安心できる。 ・多世代が集える場所になればよい。 | | |
| 住まいのPRをまちの内外へ | <ul style="list-style-type: none"> ・向島の住宅のこと（例えばリノベーションされている住宅など）を外向けにもPRしたい。 ・向島の住民がまちづくりをしっかりと考えていることをPRしたい。 | | |
| 大学、駅が活かされていない | <ul style="list-style-type: none"> ・文教大学があるのに向島は通過しかしていない。 ・駅前の土地利用がさびしい。 | | |
| 一貫校について | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校となったら、どうなっていくのか不安がある。 ・小中一貫となることをきっかけにして、まちをよくしたい。 ・全体がよくなればNTもよくなる。 | | |
| 若い人の居住ニーズの本音・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・若い人にとっては向島ニュータウンは「仮の住まい」であるという意見がありショックである。向島からステップアップして御所南学区などに住みたいというニーズがある。 ・足かけで住んでいる意識の人も少なくない。 ・ランクUPして向島から出て行く人が子供心にうらやましかった ・収入階層の問題がある。ワークライフバランスとれない家庭が多い。 ・教育面でのイメージがよくない ・評判がよくはない。魅力がないから出ていってしまう。→よくすることが大切 ・向島から出ていこうとする人の流れがある→まちのイメージをよくすることが大切。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| | |
|--------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・「いい町に住んでいます」といえるまちでありたい。・魅力のあるまちにしたら子育て層が来てくれるかどうか。・保育園、幼稚園は入りやすいというメリットはある。 |
| 考えるべきまちのイメージ | <ul style="list-style-type: none">・終の住処とした考えてもらえるようにしたい。そのためにはコミュニティも大切である。・市の施設や土地を活用してイメージを変えていくことが大切 |
| 活動への参加が不足 | <ul style="list-style-type: none">・地域活動に参加する人が少ない。役員のなり手いない・若い人は参加する思いは持っていますが、時間がなくて参加できない |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ① | | | |
|--------------|------------------------------------|-----|----|
| テーマ | 若い世代が住みたいまち | 班 | 8 |
| 進行役 | 小林 | 記録係 | 石井 |
| 項目 | 意見 | | |
| イメージ | ・ 向島は京都駅から近くバイパスからも近い、学校、病院、福祉もある | | |
| | ・ 立地や施設は充実しているのでは | | |
| | ・ 「向島」と名前がつくだけで・・・まちのイメージがよくない | | |
| | ・ 意識を変える！！イメージの転換が必要 | | |
| コミュニティ | ・ コミュニティ活動の受け皿づくりを | | |
| | ・ 多世代居住等、多様性が必要→ニュータウン共通の問題 | | |
| | ・ 3街区管理組合でコミュニティについて検討した | | |
| 学校の跡地活用 | ・ 統廃合問題 | | |
| | ・ 跡地活用の検討が必要 | | |
| | ・ 跡地を売却できないか | | |
| | ・ 小学校跡地に高齢者が集うことができる場所ができないか | | |
| | ・ 政党が使える場がない…誰もが使える場所が必要 | | |
| | ・ 多様に使える施設整備を！！ | | |
| | ・ ホテル誘致できないか | | |
| | ・ 小学校の子どもを機を活用すると、大きな机としても使える | | |
| 高齢者福祉 | ・ 認知症の方への対策が遅れている | | |
| | ・ 地域包括支援センターが少ない | | |
| | ・ 高齢者福祉の制度が介護予防・日常生活支援総合事業へ移行していく | | |
| | ・ 近鉄電車の敬老パスが廃止されると言われた | | |
| 居場所 | ・ 健康相談等が常設的に出来る場がほしい、「健康喫茶」等 | | |
| | ・ 高齢化が進展しており、高齢者の高齢者による高齢者のための施設を！ | | |
| | ・ 中央公園に高齢者喫茶店できないか | | |
| 中央公園 | ・ 中央公園は管理上自由に使えない | | |
| | ・ 中央公園を河川化+歩道整備を | | |
| | ・ 平らな歩道を整備し、散歩ができる楽しい道を！ | | |
| 改修・建替 | ・ 思い通りに建替えたいが承認が難しい | | |
| | ・ 大規模修繕が必要だが莫大な費用が必要 | | |
| | ・ 耐震改修したいがお金がかかる | | |
| | ・ 自力での修繕や耐震補強ができない状況。助成額のアップを！！ | | |
| 民泊 | ・ 分譲で「民泊」している | | |
| | ・ 市営住宅を民泊活用できないか | | |
| その他 | ・ 歴史を活かした向島の観光振興を | | |
| | ・ 自主防災活動の人員が少ない！非常事態の際に対応できない | | |
| | ・ 今日の会合が全体集会とっていた | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|----------------------------|---|-----|----|
| テーマ | 生活を支える商業 | 班 | 1 |
| 進行役 | 伊藤 | 記録係 | 馬場 |
| 項目 | 意見 | | |
| 都市計画による若い世代の誘導 | 商業を活性化するには、まず購買層が住む街にする必要がある。ニュータウン内に働く場所があれば、若い世代や働く世代が入ってくる。そのためには、都市計画で誘導を考えるべき。 | | |
| 若い世代の住環境の整備 (空き家利用) | 空き家を若い人向けにリフォームして多くの人が入居すれば、自治会活動も活発になり、様々な課題に対処できるようになる。 | | |
| 商業施設的环境整備 (空き家利用) | 空き家を集約して空き家棟を建て替える、商業施設にしてはどうか。 | | |
| 駅前の商業施設整備 (外部への魅力発信) | 駅前に魅力的なお店があれば電車を利用して外からもやってくる。その際、農園を営む住民の農産物の販売など向島ならではの商品をアピールする。 | | |
| 団地内の魅力発見・創造 (外部への魅力発信) | テニスコートには多くの人があるが、食事をするところがない。跡地を活用して地産地消のお店があるとより魅力的な場所になる。 | | |
| 団地内の魅力発見・創造 (住民の自主的活性化) | 自転車を活用した巡回バスなど、元気なお年寄りの様々な能力を生かせる場を、住民のアイデアで自主的につくりだす。 | | |
| 団地内の生活の充実 | 買物の配達サービスを通じて、お年寄りの見守りができればよい。 | | |
| 団地内の生活の充実 (住民の意識の覚醒) | 皆が利用する場所では、住民自身がまちをきれいにする意識を持つ。そうした活動を管理者・行政が確実にサポートする。 | | |

第 2 回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|----------------|--|-----|----|
| テーマ | 命を守る防災 | 班 | 2 |
| 進行役 | 竹口 | 記録係 | 亀村 |
| 項目 | 意見 | | |
| 交流促進 | <p>いざという時のために、日頃の交流を持つことが大事。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 防災に関するアンケートを取ろう 2) 自治会の指導力を高めよう 3) 通学路を“あいさつ通り”にしよう | | |
| 中学生を交えた防災 | <p>先日中学生とワークショップをすると「避難訓練」をしていることを知らなかった。地域で回覧をしており知らない訳がない。親の意識も大切だが…提案として中学生のいる平日に学校で避難訓練を行う。その際、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に役割を持ってもらう ・ 障害者とともに訓練を行う ・ 地域防災から防災教育へ発展させる | | |
| 高齢者・障害者を支援する防災 | <p>「障害者は誰に助けてもらえるのだろうか？移動には、介護者が 3 人必要なこともある」という障害者参加者の声があり、「災害時、家から連れ出して欲しい」と望む人々の支援には、どう情報をつかんだら良いか考える必要がある。</p> <p>また、「あったか訪問」の仕組みを活かしてはどうか。</p> | | |
| 外国人を支援する防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧が読めない人もいる。 ・ 中国語で書かれた回覧はできつつある。しかし、問合せがあれば言葉の壁があり答えられないだろう。なので、通訳を交えて話せる場を持つか、中国語基礎講座を開いて、日本人も基本的な会話を身につけるのはどうか。 ・ 自主防災と外国人グループの代表が連絡先を交換できるとよい。行政の仲介も欲しい。 | | |

第 2 回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|-------------------------|--|-----|-----|
| テーマ | 共生コミュニティ | 班 | 3-A |
| 進行役 | 吉村 | 記録係 | 吉村 |
| 項目 | 意見 | | |
| 人のつながりをつくる街区ごとの身近な拠点づくり | <p>○街区集会所が使用しづらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街区集会所があっても施錠されていたり、管理者が居なかったり、不明だったりするところがある。 ・固定メンバーが使用していて使いづらい場合がある。 ・音楽活動等では騒音の問題もあり、街区によっては活用に様々な制約があって、実際には活動が制限されることがある。 <p>○外国人、帰国者、障害者に情報が入らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治活動等の情報が入らない。 ・防災訓練などの情報が入ってこないこともある。 ・最初の声かけが上手くいかなかったり、日本語が話せないなどの思い込みがあると声かけが上手くいかなかったりすることがある。 <p>○街区集会所の活用と使用システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街区集会所の管理システムを整備して住民に周知してもらう必要がある。 ・MJ 等を活用した活動も重要だが、むしろ MJ 等で行っている活動についてもより住民にとって身近な集会所などを利用していく方向が考えられる。 ・社協や大学が行っている地域活動の機能を住民も上手く利用してより身近な拠点が活用できやすくしていくことが必要。 <p>○そこに行けば情報が入手できるという場の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代を呼び込むことも大切だが、少子高齢化のなかでは限界がある。むしろ高齢者や障害者や外国人が住みやすい地域としての魅力を出していく必要があり、それらの人達が日常的に交流でき情報交換できる場が必要。 ・高齢者や障害者が日常的に使用する拠点はバリアフリーにすることが必須であるが、実際にはすべてのすべての集会所をバリアフリーにすることは困難だと思われ、重点箇所を決めていく必要がある。 ・情報弱者に対する声かけ、配慮が必要。 ・日常的なつながりを確保していくことが必要。 ・SNS の活用が必要。 | | |
| 地域共生の拠点づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・公園や空き地が荒れ放題になっていたり、砂場が猫の糞だらけだったり、遊具が錆びていたりする。 ・公園や空き地に多世代が集えるような明るい雰囲気欲しい。 ・住民がボランティア的に砂場の清掃を行ったりしているが、限界がある。 ・子どもたちが集まれるような公園の整備、明るく暖かい雰囲気の演出などが必要。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| | |
|---------------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者から生活の実態を教えてもらったり、介護技術を障害者の視点から学んだり、バリアフリー教室や防災訓練の講師として活動してもらったりすることも重要。 ・ 障害者と住民が共に過ごせて交流できる至便な場所が必要。 ・ 重点箇所を決めて遊具や砂場を整備して多世代が憩える場所を作ることが必要。 ・ 空き地についてはガーデニングや菜園として貸し出しはできないか。 ・ 建物に動物などのかわいい絵を描くなどして、棟の区別がしやすく明るい雰囲気演出をすればどうか。 ・ 障害者を支援するという発想だけではなく、障害者の持つリソースを活用する発想をもつことが必要。 |
| 在宅を支える医療介護連携の体制づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療・福祉関係者の連携・情報の共有 ・ 連絡会などがもたれるようになっているが、住民にも医療・福祉情報を周知してもらうシステムづくりが必要 |
| 介護予防・健康増進の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普及啓発活動の充実 ・ 医療・福祉機関が様々な取組みを行っているが、互いに取組みを周知していない場合がある。地域全体としてどのような取組みが必要かを考えて体系的に実施していく必要がある |
| 障害者福祉サービスの情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療介護の情報だけではなく健康増進や福祉サービスの情報についても情報共有ソフトを活用したネットワークを作る必要がある。 |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|----------------------------|--|-----|-----|
| テーマ | 共生コミュニティ | 班 | 3-B |
| 進行役 | 大河内 | 記録係 | 大河内 |
| 項目 | 意見 | | |
| 1 機会・場づくりで人をつなげていこう | <ul style="list-style-type: none"> ・人につながれる機会、場づくりがある。 ・一緒に何かをしながら、人のつながりをつくっていこう。 ・顔見知りから助け合える関係にまで、つながりをつくっていこう。 ・子育て層、障害者と地域住民がふれあうことが大切。 ・3街区は自治会がないので問題解決に向けた話し合いの場がない。 ・会計が不明瞭な自治会はダメ。自治組織をつくり直そう。 ・秋の祭典はニュータウン全体で、一緒につくっていることがよい。 ・MJで行っている歌の集いで、人につながっている。 ・あいりん館では、買い物デイサービスに行っており、店員さんと顔なじみになっている。 ・地域の人にも来てもらえるように、あいりん館の映画会を上げたい。 ・運動公園のラジオ体操で人につながっている。 ・5街区は子どもの見守りしており、子どもに声かけして話ができている。自分も元気になる。 ・学校跡地を活用して、人のつながりの拠点をつくろう。 | | |
| 2 人のつながりを広げていくために | | | |
| (1) 市営住宅の空き家活用しよう | <ul style="list-style-type: none"> ・分譲、UR 賃貸、市営住宅があるが、市営住宅が多い。生活の厳しい人が集中している。 ・市営住宅の空き屋を改修して目的外利用しよう。学生が入居できるようにしよう。障害者のグループホームに利用して、地域で支えよう。 ・分譲住宅は民泊が出始めている。 ・市営住宅は廊下に自転車が置かれており、災害避難時に危険。住棟 EV ホールで落書きがされており、美化活動が必要。 | | |
| (2) 集会所にまちの保健室を | <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者が増えており、鬱になる人もあるからなんとかしたい。 ・居場所をつくっても、元気な人のみ出てくる。どうやって来てもらうか。 ・集会所に保健師さんなど専門職が参加すれば、相談しやすいから、来てくれるのではないかな。 | | |
| (3) 認知症、介護予防の取組を | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェつくろう。学区社協が取組の中心になろう。 ・介護保険制度が変わるが、要支援者のサービスづくりができていない。市の予算付けが必要。 ・高齢者福祉の拠点である包括センターは中学校に2ヶ所に拡大しよう。 | | |
| (4) 高齢者や障害者、外国人の防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者は福祉避難所と居宅避難になる。支援が行き届くだろうか。 ・要援護者に配慮した福祉避難所が機能するか。福祉避難所に行くまでの支援も必要になる。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|---------------|---|-----|----|
| テーマ | 交通・移動手段 | 班 | 4 |
| 進行役 | 戸田 | 記録係 | 平岡 |
| 項目 | 意見 | | |
| 敬老乗車証について | <ul style="list-style-type: none"> 向島では敬老乗車証を使える余地が他地域にお住いの方よりも少なく、同額を負担しているにも関わらず、恩恵を受けられない。 → 近鉄の電車・バスで敬老乗車証を使用できるようにできないものか。 | | |
| 近鉄電車・バスについて | <ul style="list-style-type: none"> バスが1時間に1本では使い勝手が悪い。 朝も運行が遅い（通勤等に使用するのに不便） 向島を急行停車駅に → バス本数の増便，ダイヤの検討 → 近鉄電車・バスで敬老乗車証を使用できるようにできないものか（再掲） | | |
| 市の交通施策 | <ul style="list-style-type: none"> 市内中心部と比べて優遇されていない。また、岩倉や洛西からは中心部への直通バスがあるのに、向島ではない。 → 市バスの中心部への直通便を。できないなら、近鉄バスの増強や敬老乗車証の使用可能となるよう検討を。 市政協力員等を通じて、交通の充実自体は要望しているところ。 → モビリティマネジメント会議などで、市バスの延伸等についても検討してほしい。（一定程度のニーズがないと難しいので、利用促進策とセットで検討する必要がある。） | | |
| 運賃の高さ | <ul style="list-style-type: none"> 例えば、北山まで近鉄+地下鉄でいくとなると、往復 1,000 円以上かかってしまう。京阪で大阪へでていくのと変わらない。 → 相互乗り入れしていることを踏まえ、運賃の見直ししてほしい。 → 正直、向島が著しく中心部への交通の便が悪いとは思わない。問題は運賃の高さが問題である。 | | |
| ニュータウン内での交通手段 | <ul style="list-style-type: none"> 近商が改装で2週間程度休業した時、自治会で買い物手伝いなども行ったが、NT内を自由に動けるような手段が少ない。高齢者が外に出られない。 中央公園の周囲については車が通れないので、近商や商店街まで車でいけない。 → 移動買い物 → コミュニティバスのような、ニュータウン内の移動手段 → 市バスで他の地域でも運行しているような小型バスの運行 → セグウェイは路上での使用はできないが、向島をセグウェイ特区にして利用できるような仕組みを（市外でそのようなことを考えている地域もある） → 自転車タクシー | | |
| 目的地までの交通手段 | <ul style="list-style-type: none"> → 特に交通が困難になるのは、高齢者や体が不自由な方であり、需要を確認する必要があるが、病院までの交通手段（徳洲会病院等までの往復バス等）の確立 → 福祉タクシー | | |
| (総論) | <ul style="list-style-type: none"> まちびらきから40年が経過の中で交通の不便さは当初から課題であったかもしれないが、ここに来て大きな問題となっている原因として考えられるのは？ → やはり、高齢化によるところ。車を所持し、運転する人も多く、それほどの不便さは感じていなかったが、車に乗らなくなったり、徒歩・自転車での移動が身体的にしんどくなってきたことで、多くの人にとって不便さが問題として顕在化してきたものと考えられる。 | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|-----------------------------------|---|-----|----|
| テーマ | 新しい商業・観光・PR | 班 | 5 |
| 進行役 | 嶋崎 | 記録係 | 嶋崎 |
| 項目 | 意見 | | |
| このまちにあるもの | <ul style="list-style-type: none"> ・いいものあるのに使えていない →全国モデルとなる地域包括システムを構築したい ●土地がある ・小中跡地など「土地」があるのが財産 ●人材がある ・人材が豊富で盛り上がる町 ・住民の「よくしたい」という気持ちが魅力的！！ ●まちの個性・歴史がある ・信長、家康、秀吉の3人が出るマチめずらしい ・宇治川（ライン川に見立てる）があり空がひろい、風が豊か ・歴史的な土地柄がある。 ・野鳥も来る巨椋池としての土地の歴史 ・地消地産の土地 | | |
| このまちの課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・観月橋以南は観光マップに入っていない！ ●バリアフリーのできていない実態がある ・BF 歩道はボコボコ、車いすは押せばよいというわけではない ・気軽に食事のできる場所（入れるところない） ・派出所のトイレも使わせてもらえない | | |
| ↓ | | | |
| 具体的アイデア① 〈歴史を活かしたまちづくり〉 | <ul style="list-style-type: none"> ・伏見城～向島のマップづくり ・観月橋にギボウシつける ・歴史の人物が一本の線にできたら ・第2観月橋の上からの景色を見たい →歩道つけたい | | |
| 具体的アイデア② 〈商店街にスタジオを〉 | <ul style="list-style-type: none"> ・商店街で集える場としてスタジオを考えたい。 ・個人の事業としてだけではむづかしいが、公共的機能として運営できないか。 ・まちにも明かりと声もれるとにぎわいが生まれる（しかし、周辺に住宅があることが課題） ・カーブスも近商ストアにできた（女性専用） ・ヨガ、体操、ストレッチとかをスケジュールをたててやれるスタジオがあれば、体力を維持していける。食事もできるようにして。 ・健康のため、というだけでなく「楽しさ」があることが大切 | | |
| 具体的アイデア③ 〈宿泊の受け皿〉 | <ul style="list-style-type: none"> ・向島の住宅でも民泊が出てきている→観光拠点になりうる。ニーズがあるということ。 ・奈良、京都、大阪にも出れる ニーズはある ・京都は国際会議もある都市であり、向島からは各所へのアクセスもよ | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| | |
|--|---|
| | <p>い。文化庁の誘致もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリツーリズムも考えられる（外国人のニーズある） ・合法的にできる宿泊施設を考える必要がある ・地域の空気を楽しめるような宿泊が望まれる。 |
| <p>具体的アイデア④ 「売り」になるアイデア</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「ダンジリ」のような「売り」があるとよい ・住棟間のジップライン、バンジー ・ゲームセンター（高齢者にも人気）任天堂と組めないか？ |
| <p>具体的アイデア⑤ 宇治川河川敷の活用</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・公園で「おどり」できるとよい ・鴨川も瀬田川もうまく河川敷を活用してるのに、宇治川の河川敷をもっと使えないか？ ・家庭菜園、バーベキューなどで活用できることも考えられる。 |
| <p>具体的アイデア⑥ 〈バリアフリー化は大切な基本的な視点〉</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・立派にするのでなくてもシンプルなことでよい |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|---------------|--|-----|----|
| テーマ | 住まい・公園等住環境 | 班 | 6 |
| 進行役 | 小林 | 記録係 | 石井 |
| 項目 | 意見 | | |
| 若い世代の受け皿 | ・若い世代が入りやすい家賃制度を（市営住宅） | | |
| | ・室内の改装も自由にできるようになってほしい | | |
| | ・リノベーションされた住宅に若い世代が入ってきても子どもが大きくなると出て行かねばならないのは、地域にとって損失 | | |
| | ・所得や世帯構成等の制限のない受け皿が必要では | | |
| | ・学校跡地に分譲マンションをつくれれば若い世代が入ってくるのでは | | |
| 中央公園 | ・緑が多い公園だが、暗い、こわいイメージがあり、使いづらい | | |
| | ・中央公園の魅力をPRすべき | | |
| | ・ホタルやハスの原種など魅力的な資源がある | | |
| | ・東屋をお店にしてはどうか。喫茶店やパン屋さん等 | | |
| | ・撮影スポットがあれば人も来て、写真で情報発信してくれる | | |
| 跡地利用 | ・公民館や多目的ホール等、誰もがいろんな用途に使える施設整備を | | |
| | ・駅前に一息つける所がほしい | | |
| | ・高齢者が集うことができる場づくり | | |
| | ・学校のグラウンドが不足するのでは。野球場やサッカー場整備を | | |
| 学校の魅力 | ・新しい学校の魅力は何なのか、PRが不足しているのでは | | |
| | ・学校の魅力のPRを。期待がふくらむ！！ | | |
| | ・未就学層へのアピール必要。私学へ行こうか悩んでいる人もいる | | |
| | ・スポーツで京都一番を目指す。吹奏楽も強い | | |
| 地域イベント | ・学校、地域が一緒になった合同運動会の開催を。昔はやっていた | | |
| | ・学校行事や地域の催しへの参加で地域を活性化できないか | | |
| | ・地域イベント等についてPRする広報誌がほしい | | |
| | ・農を活かしたイベント等が開催できないか | | |
| | ・地域のサークル活動を展開して地域コミュニティの活性化を | | |
| 地域バックアップ | ・周囲で子どもや家庭を支えていけないか。高齢者層がバックアップ、PTAやPTAのOB等の人材も | | |
| | ・親の意識の転換を。しんどい状況はわかっているので、地域の人材を活用してほしい | | |
| | ・適度なバックアップがよい。過度なバックアップは逆効果 | | |
| 子どもの居場所＋多世代交流 | ・「アフター5スクール」の充実 | | |
| | ・図書館2Fを活用できないか。夜の9:00ぐらいまで使える学習室のある図書館を！ | | |
| | ・青少年活動センターのような場所の確保を | | |
| | ・学校に愛着をもってもらい、「ふるさと」意識を育てる | | |
| | ・表彰制度（高齢者向け）の充実。子どもの入学、成人も大切に | | |
| 転入促進、地域の魅力 | ・地域の魅力アップが必要。転入層の呼び込みを | | |

第2回向島ニュータウンのこれからを話し合う集い 記録

| グループでの話し合い ② | | | |
|--|---|-----|----|
| テーマ | 子育て支援・教育環境 | 班 | 7 |
| 進行役 | 三林 | 記録係 | 高橋 |
| 項目 | 意見 | | |
| 小中一貫校 | 少子化の時代に小中一貫校で子育て世代を集めるのは矛盾していないか。 | | |
| | 全国での取り組みを参考にして、アイデアを共有すると良い。 | | |
| | 小中一貫校と魅力はイコールではない。小中一貫校を契機にして魅力作りをするべき。広い世代に向けて魅力をアピールしていくべき。 | | |
| | 子育てが充実した町として向島に人が呼べるようになってほしい。 | | |
| | 1000人規模の学校と言っているが、子育て世代が入ってきて人が増加すると足りなくなるのでは？ | | |
| | 小中一貫校のメリットを住民が共有していないのではないかと、メリットの1つは跡地の利用などか。 | | |
| | 小中一貫校には二面性がある。子育て世代の呼び水にはなるが、学校不足などによって教育環境の悪化にも繋がるかもしれない。 | | |
| | 小中一貫校の制服についてのアンケートがあったが、少数意見が反省されない。そもそも小学校に制服がいるのか。 | | |
| | 小中一貫校は制服など外見ばかりで、教員や教育内容などの中身が不明のまま。 | | |
| | 小学校の統合・分離の頻度が多い。統合するなら教育水準をあげてほしい。教育分化をキーワードにしてまちづくりをしていくべき。 | | |
| 跡地の問題 | 異世代交流できる場がほしい。 | | |
| | 向島 MJ では多様な世代が交流している。でも手狭。 | | |
| | 赤ちゃんから青少年、地域の高齢者まで広い世代が集える場所としてアトリを利用してほしい。 | | |
| 市営住宅の問題 | 市営住宅に若い世代が入る工夫が必要。 | | |
| | 子どもの貧困は課題としてある。ひとり親世帯も多く、支援が必要な家庭が多い。 | | |
| | 所得による制限など、そもそも入居の規制があるのが問題。法改正が必要なのでは。 | | |
| | 住んだあとのライフステージが見えれば人は来る。小学校→中学校→高校という流れや、近隣の商店の利用の仕方などが想定できればよい。 | | |
| | 親の世話などで中年層が戻るようになってきた。小中一貫校ができて子育て世代が来る流れと対立しないか。 | | |
| WG への子育て世代の参加 | タウンミーティングに若い世代の参加がない。 | | |
| | 若い子育て世代にアンケートしたらどうか。インターネットを活用したり、図書館や保育園にアンケート用紙を置いたりしても良い。 | | |
| | ミーティングに参加しにくい人たちに意見を出せる機会をつくってほしい。 | | |
| | 子育て情報はみんな見ている。ハロウィンのイベント情報や京都文教大のニコニコルームのことは知っている。そういう情報は児童館や保育園で告知されている。 | | |
| 中学生の意見 | 中学生はベルファに集っている。ファッションやアクセサリーなどのおしゃれな店や本屋がほしい。 | | |
| | 中学生が遊びに行くのは四条や久御山。向島駅前に中学生がつかえるような店がもっと増えてほしい。 | | |
| | 地域住民の声かけ・挨拶はうれしいけどうまくこたえられない。 | | |
| | 中学生は自分たちのまちに満足している。良い町だと思っている。 | | |
| | でもあか道は怖い。不審者情報が毎日入ってくるのも怖い。 | | |
| | あか道はイルミネーションで飾ったら良い。 | | |
| | 地域ラジオの話があったが、中学生はラジオを聴かない。 | | |
| コミュニティラジオもないし、最近ラジオを聴く人は少なくなったが、中学生や大学生などの若者が何かを始めたら高齢者層も聴くかもしれない。 | | | |